

タイトル『この本を盗む者は』

著者：深緑 野分 出版社：角川文庫

“本の町”^{よみながまち}読長町に住む、高校生の深冬^{みふゆ}。
本作の主人公、深冬の家は代々巨大な書庫“御倉館”^{みくらかん}
の管理人を務めているが、深冬は本が嫌いなのだ。
そんなある日、御倉館から本が盗まれたことで
本の呪い、ブック・コースが発動し、読長町は物語
の世界へ変貌してしまった。

ブック・コースを解消すべく深冬は真白と共に不
思議な世界へととびこんでいく。



ファンタジーでありながら、たくさんの伏線から真
実へとどりつくミステリーでもある読む牛がとまらない
おてきな本です。

彩やかな情景が浮ぶ表現や、人物の心情の
移り変わりにも注目してみてください。

ぜひ読んでみてください！

投稿日 2024年 11月 8日

ペンネーム (本名は書かないでね！)

B型

年齢

14

仙台市 市民図書館 YAコーナー